



目指せ！ クマが来ない地域

クマに**味**を覚えさせない！



ハチミツ等の味を覚えさせないことが何より重要です

養蜂場や果樹園を**電気柵**で**囲い**

侵入させない対策を！ (裏面参照)

▶ 人里出没は秋が多く、年によって出没件数は増減します
クマの人里出没は、冬眠前の秋(9月頃～)が多くなっています。
ドングリ等の山の実りが悪い年は、餌を求めたクマが人里に出没しやすくなるといわれています。特に、**ハチミツはクマの大好物**で注意が必要です。

▶ 捕獲だけでは被害を防げない

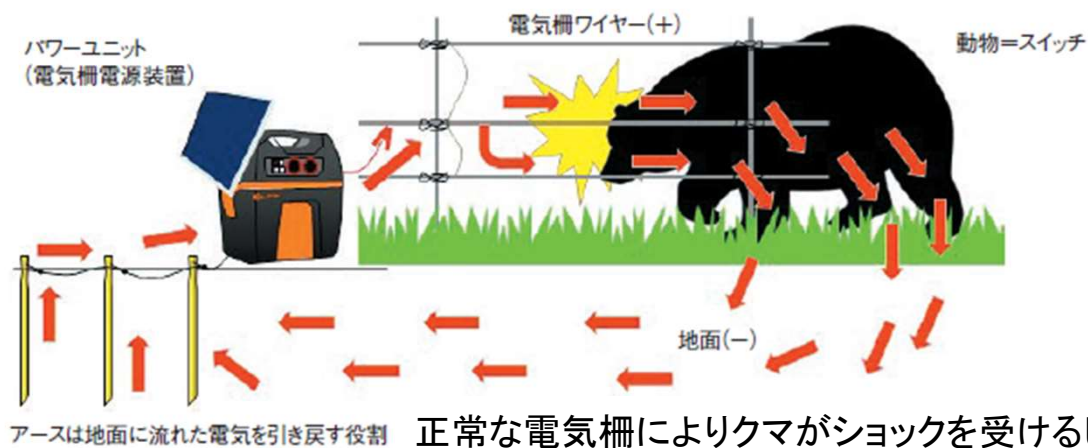
クマには明確な縄張りがなく、複数のクマが行動圏を大幅に重複させています。

人里に執着したクマを捕獲しても、執着物となっている食べ物の対策をしない限り、周辺の別のクマが再び加害するだけで、一時的な対策にしかなりません。

県内のツキノワグマは、生息数が非常に少なく、県の絶滅危惧種に指定されている一方、一度、人里への出没があると人身被害が懸念されます。

神奈川県では、住民の安全確保を最優先にしつつ、クマを可能な限り保護する方針で対応しています。

クマの出没が確認されている地域の皆様 養蜂場等への**電気柵の設置**をお願いします！



正常な電気柵によりクマがショックを受けるしくみ
出典: ツキノワグマによる養蜂被害防除(一般社団法人日本養蜂協会)
(原図: サージミヤワキ(株)神武海氏提供)

電気柵は、有効な防除手段ですが、次に注意して設置してください

1 周辺環境整備

周辺のヤブの刈り払い、誘引物(廃果、生ごみ等)を適切に処理しましょう。

2 アース棒を地中に全部打ち込む

クマが電線に触れ、クマ→地中→アース棒→パワーユニットへと電流の回路が発生することでクマは感電します。アース棒が地上に出ているとショックが弱まります。

3 電線の高さを、地面から20cm、40cm、60cmにする

4 電線に雑草や金属製のポール等が触れて、漏電していないか確認

※各機関からの電気柵の貸出

万一、緊急の対応で電気柵が用意できない場合、一時的ですが、市町村や県から電気柵を貸し出せる場合があります。管轄の関係機関にお問い合わせください。

県機関名	電話番号	所管市町村
県央地域県政総合センター 環境調整課	046-224-1111(代表)	相模原市、厚木市、愛川町、清川村
湘南地域県政総合センター 環境調整課	0463-22-2711(代表)	秦野市、伊勢原市
県西地域県政総合センター 環境調整課	0465-32-8000(代表)	南足柄市、松田町、山北町、 小田原市、箱根町、湯河原町
かながわ鳥獣被害対策 支援センター	0463-22-9521(直通)	全県

問合せ先: 自然環境保全課野生生物グループ 電話 045-210-4319